

スーパーグローバル大学創成支援事業 中間評価結果

大学名	広島大学
整理番号	A10
構想名	世界をキャンパスとして展開する広島大学改革構想

◇スーパーグローバル大学創成支援プログラム委員会における評価

(総括評価) A	これまでの取組を継続することによって、事業目的を達成することが可能と判断される。
(コメント)	
<p>本構想は、教育力と研究力の強化を大学改革の両輪として、徹底した大学改革と国際化により世界トップ100の総合研究大学となることを目指し、制度改革によるガバナンス強化、教育制度変革、国際通用性の確保を3つの歯車として推進することにより、予測不能な人類の課題解決に貢献するグローバル人材を育成する取組である。</p> <p>構想の実現に向けた体制整備として、学長のリーダーシップの下に全学的な視点で速やかに意思決定を行うべく、教員人事を部局ごとの管理から全学一元管理へと移行した。また、独自のKPI(Key Performance Indicators)である目標達成型重要業績指標(AKPI®: Achievement-motivated KPI)と教員エフォート指標(BKPI®: Basic Effort KPI)を開発し、大学改革のための研究力・教育力・国際性の強化を戦略的に図ろうとする施策は、他では見られないユニークな取組である。AKPI®を活用して大学ランキング向上に寄与する各要素を抽出し、現状パフォーマンスの詳細なデータ分析と今後の改善目標の設定、また定量的な効果試算に基づき、目標達成に向けた各種の施策が着実かつ主体的に実行されている。加えて、これまでアジア、アフリカ、カリブ海などに留まっていた国際研究ネットワークを欧州等に広げ、国際性をより高める取組も積極的に進められている。</p> <p>これらの取組を通じて、本構想に関わるガバナンス、教育改革、国際化に渡る18の数値目標のうち16項目をほぼ達成している点や、大学独自の大学改革構想工程表で計画した185項目の目標のうち177項目を達成した点、さらには、QS World University Rankingsを348位(平成27~28年)から297位(平成28~29年)へと上昇させた実行力は高く評価出来る。また、本事業終了後も、大学改革を継続するための資金として新たな基金の設立を計画している点も評価に値する。</p> <p>一方、研究力強化のための分析と体制構築は整備されつつあるものの、世界大学ランキングトップ100という高い目標に対しては、AKPI®を活用した個々の教職員の努力や改善のみでは十分とは言えず、大学全体としての強みを育む具体的な戦略の策定と実行が必要である。研究力強化においては、既に着手している科学技術・学術政策研究所(NISTEP)の8分野ではなく、詳細な22分野ごとの国際競争力の可視化と強み分野への重点支援のほか、大学院の再編や研究拠点の見直し等を通じた各研究分野の圧倒的な競争力強化が期待される。同様に、教育力強化においては、日本人学生の語学力向上と留学経験の機会の提供など、国際感覚を養うに寄与する施策の推進が特に期待される。</p>	